

フリガナ	ウラベ レイジ
氏名	占部 礼二
所属	会計学科
職階	准教授
専門分野	キャリア教育、職業学習、ライティング教育、キャリアカウンセラー、就職活動支援

【主な研究内容】

実務としましては、就職支援の現場（キャリアセンターでのキャリアカウンセリングや就活講座の講師など）をスタートとし、そこからキャリア教育の授業など担うようになってまいりました。”就活でのつまずき”を解消することが基本的なスタンスになっています。以下2点、そのつまずきについて挙げます。

つまずき①文章が書けない

履歴書やESのテクニカルな面での書き方を教えても、基本的な文章を書く力が身に着いていないと書けないケースが多いと気づき、初年次向けのライティング支援に力を入れてまいりました。奈良県の畿央大学では2012年より1年向けのライティング科目「日本と表現」を担当しています。（今年からオンデマンド授業として継続）

つまずき②やりたい仕事が無い

キャリアカウンセリングの際に「やりたい仕事が無い」「志望動機が書けない」と悩む学生をたくさん支援してきました。問題の1つに基本的な職業知識がないことが挙げられると考え、基本的な職業知識を得るための「職業学習」に取り組んできました。しかし、一方的に冗長な知識教育を行っても効果は薄いと考え、実際に働く人に監修をしてもらい、仕事の疑似体験ができるワークショップを開発しています。添付資料①はニトリで働く方に監修をしてもらった「お店作りのワークショップ」になります。こういったものを作り、自分の授業や講座で展開してきました。そこからコロナを経てオンライン授業などが増え、副業が許される時代になってきたことで企業で働く方々も柔軟に参画できるようになり、徐々にメンバーを集め、実際に企業で働いた経験者の方に授業に入って頂きワークショップを行うようになってきました。

研究テーマとしましては、この2つの領域の交差する点について研究しております。大きな「学業と職業の接続」になり、具体的には、アカデミックスキルの習得やレポートライティングなど「大学での学び」に力を入れる学生ほどテーマを検討したり調べたりする力が身に着き、キャリア探索が促進されるのではと考えて研究しております。

【経験のある連携事業（地域連携、企業連携、高大連携等）】

地域連携

- ・愛媛県双海町にて探求力を促進する「ハテナを探す旅」（2013年）
街歩きを行い、地元の魅力を探す。地域おこし協力隊・自治体と連携。
企画から運営までを担当。
- ・京都府京丹後市にて、同じく「ハテナを探す旅」を立命館大学マスコミ対策講座「リつまス」の中で実施（2014年）。

企業連携

- ・関西大学ライティングセンター「ライティングラボ」と連携し、JTB株式会社の支援のもと、社会連携講座として「未来の旅行を考える～社会で活躍するために必要な「書く力」とは？～」というタイトルの講座を行う。（2016年）

高大連携

- ・奈良県の育英高校、育英西高校で文章講座を行う。（2014年）

【今後取り組みたい連携事業、または対応可能な連携事業】

- ・中高生向けの職業学習講座
製造業（アパレル、機械）、卸売業、IT業、通信業、PR業、コンサル業、金融（銀行、生保）などで働いている・働いていた業界経験者がメンバーにいます。私がコーディネーターとして業界経験者に参画してもらい講座を行うこともできますし、私の方々が作った教材を使って講座を行うこともできます。

キーワード | キャリア教育、職業講座、文章講座